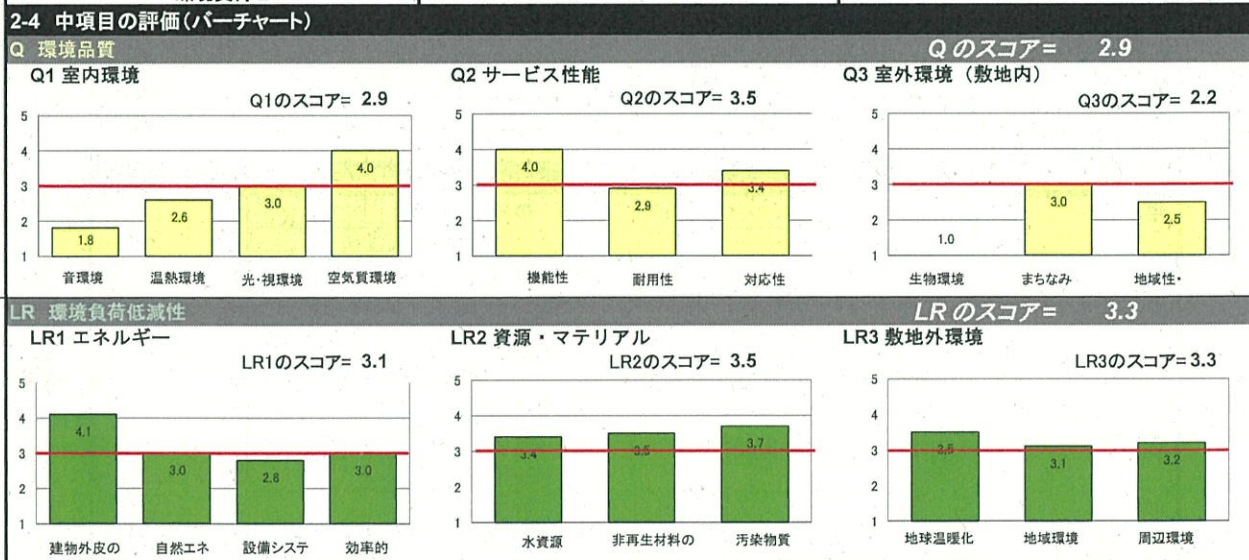


CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	〈仮称〉マックスバリュ米子河崎店	階数	地上1F
建設地	鳥取県 米子市 河崎1339-1一部、他	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、河崎中央地区地区	平均居住人員	373 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年4月 予定	評価の実施日	2022年6月21日
敷地面積	6,969.06 m ²	作成者	(株)加藤建築事務所 長宗洋志
建築面積	2,220.11 m ²	確認日	2022年6月21日
延床面積	2,079.08 m ²	確認者	(株)加藤建築事務所 長宗洋志



3 設計上の配慮事項		
総合 地域生活に貢献できるよう周辺地域に馴染んだ店舗設計。不特定多数の方が利用する施設であるため、安全に配慮した設計を目指している。		その他 ローコスト追求し、単色仕上・素材を採用し、金属的な光沢のある素材や、意匠性の高い建材を使用せず、シンプルになるよう計画しています。
Q1 室内環境 化学汚染物質の低減や、全面禁煙とするなど、店舗運営に関しての必要最低限での計画としている。	Q2 サービス性能 原則として、バリアフリー新法の利用円滑化誘導基準を満足する建物とし、店舗の天井高さを高くとりゆとりある計画としている。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内に出来るだけ緑地を設け、敷地内緑地帯の配置及び壁面緑化による修景緑化に努めている。
LR1 エネルギー スーパーマーケットという消費電力の大きい施設となるが、極力消費電力を抑える工夫を行う(LED電球、高効率(Hf)蛍光灯。冷凍ケース、冷蔵庫はエココイル(気化冷却式凝縮器)の採用を予定する。	LR2 資源・マテリアル 食品販売を行うにあたり、各部門(農産、水産、畜産、惣菜、パン)がそれぞれ作業場を持ち、水の使用量も多くなるため、節水に努める。	LR3 敷地外環境 屋外駐車場であるため、外部照明を要する。近隣への影響を考慮し、来客の支障とならない範囲で極力照度を落とす。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される